

## 福井県産ハナバチ類について

-若干の県外分布資料を含む-

田 塙 正\*

### はじめに

福井県産蜂類についての研究は、本邦にあってそのトップレベルにある。しかし、その研究成果の大部分は狩人蜂（アナバチ類）の仲間についてのレポートであり、幼虫の食糧として花粉と蜜との混合物を貯え、花の受精に著しい役割を演じているハナバチの仲間については決して充分とはいえない。これは、日本における花蜂類全体の分類学的研究があまり進まず、その個生態学的研究も遅れているためであろう。

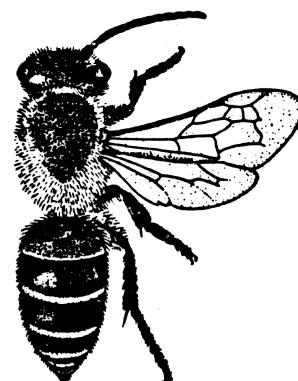
このハナバチ類の中で、最も困難にして多数の種類を含む寄生花蜂、キマダラハナバチ属の分類学的研究が常木勝次理学博士により1973年春に完成した。また、今年の8月にはやはり寄生生活の花蜂、ハラアカハナバチ属の分類学的研究が完成し、多数の新種が記載発表された。これらの論文中には、本県にゆかりの地名や本県内で研究活動を続けておられる蜂類研究家の御名前が新しい蜂の学名の中に多く見られる。これまで私が県内で採集した花蜂も、幸いにして同博士の御研究の標本材料の一部に加えていただき、同定をしていただいた。また、ハナバチ類の他のグループの標本は、羽田義任先生に同定確認をしていただくことができた。そこで、今回はこれらの標本のリストを作成し、今後の本県ハナバチ類分布資料づくりの一部としたい。

報告にあたり、日頃御指導を賜り、多数の文献を御恵与下さり、標本を同定して下さいました常木勝次博士に心から御礼申し上げます。また、大変御多忙中にもかかわらず同定確認をして下さいました羽田義任先生に厚く御礼申し上げます。

### I ミツバチモドキ科 Colletidae

#### 1 ミツバチモドキ属

本属の蜂は、砂質または粘土質の地中に巣をつくり、幼虫室はうすいセロハン様物質でつつみ、その内部に花粉と蜜の混合物を幼虫の食糧として貯える。日本からは6種類以上が知られているが、この属の日本における個生態学及び分類の研究はあまり進んでいない。



第一図 ミツバチモドキ(安松)

\* 福井県教育研究所

1) ババミツバチモドキ *Colletes babai* Hirashima et Tadauchi

福井市足羽山 5♂ 1♀ 16. VI. 1981; 和泉村 1♂ 7. VII. 1964, (石川県三ツ谷村  
3♀ 12. VII. 1979)

2) エサキミツバチモドキ *C. esakii* Hirashima

福井市足羽山 2♀ 30. VII. 1982,

〔注〕 本種は奄美大島産の雌の標本をタイプに記載発表された種で、これまで同島以外では発見されなかったが、本県では福井大学の佐々治博士により三国島にて最初に採集された。以後、足羽山で雌雄共に多数採集されているが、他の県からの報告はいまだない。地理分布上、非常に興味ある種。

3) アシブトミツバチモドキ *C. patellatus* Perez

今庄町木ノ芽峰 1♂ 6. IX. 1981,

〔注〕 秋の頃に活動し、ヨメナ等の花に集まる。

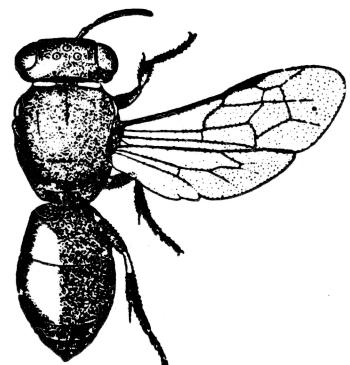
4) ミツバチモドキ *C. perforator* Smith

今庄町金草山 3♂ 1♀ 13. IX. 1981,

## 2 ハラツヤハナバチ属

以前にはツヤヒメハナバチと呼ばれたこともある小型の花蜂で、体は全体黒色、腹部は平滑でわずかに微毛を持つ。黄色または白色紋を有し、特に雄では顔面の斑紋は大型になる種が多い。脚にも腹部腹面にも花粉を集め構造は発達しない。

本属の蜂は、枯死したススキやノブドウ・ニワトコなどの有髓茎内や建築物の壁の割目等の中に営巣する。幼虫室内はセロハン様物質を塗り、花粉と蜜との混合液を貯え幼虫の食物とする。



第二図 ナガヅハラツヤハナバチ(安松)

1977年、九大の平嶋博士により日本産 *Nesoprosopis* 亜属の分類研究が発表されて以来12種が知られている。他に数種の未記録種があり、本属全体の分類並びに個生態の研究はすすんでいない。

1) スミスハラツヤハナバチ *Hylaeus floralis* (Smith)

今庄町金草山 1♂ 13. IX. 1981; 大野市秋生 1♂ 1♀ 30. VII. 1979; 大野市平家平 1♀ 22. VII. 1981; 大野市小池 1♀ 8. VI. 1980; 大野市谷山 1♀ 8. VII. 1979; 福井市足羽山 1♂ 16. VI. 1981; 南条町杣山 1♂ 16. V. 1978; 敦賀市常宮 1♂ 11. V. 1980; 高浜町音海 1♀ 17. IX. 1981,

2) *H. globula* (Vachal)

大野市嵐 2♂ 1♀ 8. VII. 1978; 3♀ 25. VII. 1979; 大野市谷山 1♂ 8. VII. 1979; 大野市秋生 1♀ 30. VII. 1979; 大野市平家平 1♀ 29. VII. 1979; 和泉

村三面 1♂ 7♀ 18. X. 1982,

- 3) マツムラハラツヤハナバチ *Hylaeus matsumurai* Bridwell

本県産標本数頭がこれまで採集されているが、地名については不明。

- 4) ニッポンハラツヤハナバチ *H. nippon* Hirashima

大野市秋生 1♀ 30. VII. 1979; 三国町雄島 2♂ 10. VII. 1982; 越前町城山 1♀ 23. X. 1981; 今庄町芋ヶ平 1♀ 28. VII. 1979; 敦賀市常営 1♂ 11. V. 1980;

〔注〕1977年に本種が新種として記載発表された時、パラタイプとして、武生市日野山 3♂; 大野市亀山 3♂の標本が使用された。

(石川県三ツ谷村 1♀ 12. VIII. 1979)

- 5) ノウメンハラツヤハナバチ *H. noomen* Hirashima

〔注〕本種が1977年に記載発表されたとき、石川県寺井海岸で私の採集した 2♂ 7♀ (14. VII. 1967) の標本がパラトボタイプとして使用された。本県でも少し注意して調査すれば発見される。

- 6) ヤマテハラツヤハナバチ *H. monticola* Bridwell

(北海道函館山 1♀ 14. VIII. 1959)

- 7) ズグロハラツヤハナバチ *H. niger* Bridwell

(北海道層雲峡 2♂ 4. VIII. 1959)

- 8) *Hylaeus* sp. 1

大野市嵐 1♀ 2. VII. 1978; 大野市谷山 1♀ 23. VII. 1978; 勝山市岩屋 8♂ 18. 21. V. 1978; 今庄町柄ノ木峰 6♂ 7♀ 9. VIII. 1979,

- 9) *Hylaeus* sp. 2

大野市嵐 1♀ 8. VII. 1979,

- 10) *Hylaeus* sp. 5

三方町神子 1♀ 11. VI. 1981,

## II ヒメハナバチ科 Andrenidae

### 1 ヒメハナバチ属

体長5~18mmの小形ないし中形の花蜂で、数多くの種を包含する大きなグループである。九大の平嶋博士により、沢山の種が整理され、新種も多数記載発表されている。その後も新種の追加が報告され、日本からは65種以上が知られている。まだ、未記録種もいくつか区別されている。

蜂の生活史についても、日本産種のものはあまり調査は進んでいない。単棲ないし群棲で、時には一ヶ所



第三図 ミツクリフシダカヒメハナバチ(安松)

に数千の巣が作られることがある。地中に巣をつくり、幼虫室に花蜜と花粉とを貯え幼虫の食糧とする。

1) *Andrena brevihirtiscola* Hirashima

池田町部子山 1♂ 6.V.1981.; 丸岡町淨法寺山 2♂ 7♀ 31.V.1981.,

2) ミカドヒメハナバチ *A. mikado* Strand et Yasumatsu

武生市日野山 1♂ 23.V.1978.; 勝山市岩屋 1♂ 29.V.1962.,

3) イシハラヒメハナバチ *A. ishiharai* Hirashima

大野市道斎山 1♂ 23.V.1982.,

4) エサキヒメハナバチ *A. esakii* Hirashima

池田町部子山 2♂ 6.V.1981.,

5) *A. maukensis* Matsumura

大野市小池 1♀ 8.V.1980.,

6) ウツギノヒメハナバチ *A. prostomias* Pérez

和泉村朝日 3♂ 2♀ 19.V.1981.; 三方町三方 2♂ 10.V.1981.,

7) コガタウツギノヒメハナバチ *A. tsukubana* Hirashima

大野市中村口 1♂ 27.V.1973.; 大野市嵐 1♂ 30.VII.1977.; 大野市谷山 1♂ 8.V.1975.; 勝山市岩屋 1♂ 18.V.1978.; 福井市足羽山 1♀ 16.V.

1981.; 三方町雲谷山 3♂ 10.V.1981.; 三方町神子 1♀ 11.V.1981.,

8) アキノヤマテヒメハナバチ *A. mitakensis* Hirashima

池田町金草山 1♂ 13.VI.1981.,

9) チビキバナヒメハナバチ *A. knuthi* Alfken

大野市小池 1♂ 31.V.1960.; 大野市嵐 2♂ 1♀ 20.V.1980.; 池田町冠山 7♂ 1♀ 31.V.1979.; 丸岡町淨法寺山 1♂ 31.V.1981.; 永平寺町大仏寺山 1♂ 1♀ 16.V.1981.; 南条町杣山 6♂ 4♀ 16.V.1978.; 今庄町藤倉山 1♂ 23.V.1981.; 福井市一乗谷 3♂ 29.N.1980.; 敦賀市立石岬 1♂ 11.V.1980.; 三方町常神 2♂ 3.V.1980.;

10) ハンゴンノヒメハナバチ *A. seneciorum* Hirashima

勝山市大長山 1♂ 5.VI.1982.; 大野市平家平 1♀ 22.VII.1981.,

(石川県:白山下 1♀ 12.VIII.1979.; 三ツ谷 3♂ 12.VIII.1979.)

11) ヤヨイヒメハナバチ *A. hebes* Pérez

大野市嵐 2♀ 20.V.1980.; 福井市岸水 1♀ 22.N.1962.; 福井市一乗谷 1♀ 29.N.1980.; 越前町城山 1♀ 29.N.1981.; 武生市日野山 3♂ 1♀ 23.N.1978.; 南条町杣山 1♀ 16.V.1978.; 小浜市百里岳 1♂ 25.VII.1979.,

12) ヤヨイヒメハナバチモドキ *A. stellaria* Hirashima

福井市岸水 4♂ 21.N.1962.,

〔注〕 前種に非常によく似ている種なのでモドキと呼ばれるが、ヒメハナバチ属の花蜂である。

13) タカチホヒメハナバチ *Andrena takachihoi* Hirashima

大野市谷山 1♀ 8.V.1979.; 今庄町木ノ芽峠 1♀ 6.IX.1981.,

14) ワタセヒメハナバチ *A. watesei* Cockerell

大野市嵐 1♂ 20.V.1979.; 大野荒島岳 1♂ 25.V.1982.; 池田町冠山 2♂  
1.V.1979.; 勝山市岩谷 2♂ 21.V.1978.; 南条町杣山 1♂ 16.V.1978.,

15) ムネアカハラビロヒメハナバチ *A. parathoracica* Hirashima

大野市嵐 1♂ 20.V.1979.,

16) *A. dentata* Smith

大野市嵐 6♀ 25.VII.1978.; 福井市武周ヶ池 1♀ 26.VIII.1981.,

(石川県:白山下 1♀ 12.VIII.1979.)

17) ミヤモトヒメハナバチ *A. miyamotoi* Hirashima

大野市嵐 2♂ 20.V.1980.; 大野市赤兎 1♀ 5.IX.1982.; 大野市冠山 1♂  
5.IX.1981.; 小浜市百里ヶ岳 1♀ 5.V.1979.,  
(鳥取県:大山 1♀ 1.VII.1963.)

18) リンゴノヒメハナバチ *A. pruniphora* Hirashima

大野市嵐 2♂ 25.VII.1978.; 1♂ 25.VIII.1982.; 大野市平家平 1♂ 29.VI.  
1979.; 1♂ 22.VIII.1981.; 大野市道斎山 1♂ 1♀ 22.VII.1980.; 1♂ 27.VII.  
1982.; 大野市能郷白山 1♂ 6.VIII.1982.,  
(鳥取県:大山 2♂ 11.VIII.1963.; 石川県:白山下 1♂ 12.VIII.1979.)

19) ヒコサンヒメハナバチ *A. hikosana* Hirashima

大野市嵐 1♂ 20.V.1980.; 永平寺町大仏寺山 1♀ 16.V.1981.; 丸岡町淨法  
寺山 8♀ 31.V.1981.; 今立町権現山 1♀ 22.V.1981.; 南条町杣山 1♀ 16  
V.1983.; 今庄町藤倉山 23.V.1981.; 今庄町夜叉ヶ池 1♂ 12.V.1980.; 三  
方町常神 1♀ 3.V.1980.,

20) アブラナノヒメハナバチ *A. brassicae* Hirashima

大野市赤兎山 1♂ 1♀ 13.VIII.1982.; 大野市嵐 2♂ 25.V.1978.; 12♂ 20.  
V.1980.; 大野市荒島岳 1♂ 6.V.1982.; 大野市平家平 1♂ 1♀ 29.VI.1979.;  
大野市小池 3♂ 10.VI.1979.; 池田町冠山 6♂ 31.V.1979.; 池田町金草山 1  
♂ 1♀ 13.IX.1981.; 福井市足羽山 1♀ 16.V.1981.; 福井市一乗谷 2♂ 29.  
VI.1980.; 武生市日野山 4♂ 23.NV.1978.; 南条町杣山 1♂ 14♀ 16.V.1978.;  
今庄町芋ヶ平 1♂ 28.VII.1978.; 今庄町柄ノ木峠 1♂ 9.VIII.1979.; 敦賀市常宮  
1♀ 2♂ 11.V.1980.; 小浜市百里ヶ岳 4♂ 5.V.1979.,

〔注〕本種は春になると活動を始め、アブラナの花に多く集まる。

21) カグヤヒメハナバチ *A. kaguya* Hirashima

大野市嵐 5♀ 20.V.1980.; 勝山市岩屋 1♀ 3.V.1978.; 丸岡町淨法寺山  
3♀ 31.V.1981.; 越前町城山 3♂ 29.NV.1981.; 武生市日野山 11♂ 1♀ 23.

IV. 1978.; 敦賀市常營 1♂ 11. V. 1980.,

- 22) アグラナノヒメハナバチモドキ *Andrena sublevigata* Hirashima

福井市岸水 4♂ 21. IV. 1962.,

〔注〕20)の種に酷似するのでモドキと呼ばれるが、ヒメハナバチ属の花蜂である。

- 23) *A. falsificissima* Hirashima

大野市平家平 1♂ 22. VII. 1981.,

- 24) ミツクリフシダカヒメハナバチ *A. japonica* (Smith)

丸岡町冠岳 1♀ 19. VII. 1981.; 金津町刈安山 1♂ 5♀ 19. VII. 1981.;

- 25) フカイヒメハナバチ *A. fukaii* Cockerell

勝山市岩屋 1♀ 29. IV. 1962.; 福井市岸水 2♂ 1♀ 21. IV. 1962.; 三国町三里浜 1♂ 22. V. 1971.,

- 26) *A. nitidiuscula* Schenck

大野市平家平 3♂ 1♀ 22. VII. 1981.; 池田町金草山 1♂ 13. IX. 1981.,

- 27) クロツヤヒメハナバチ *A. richardsi* Hirashima

大野市荒島岳 5♂ 6. VI. 1982.; 池田町冠山 3♂ 1♀ 31. V. 1979.,

- 28) キアシチビヒメハナバチ *A. fukuokensis* Hirashima

南条町杣山 2♀ 16. V. 1978.,

- 29) *A. opacifovea* Hirashima

大野市小池 1♀ 31. V. 1960.; 大野市嵐 1♀ 20. V. 1979.; 大野市荒島岳 2♂ 25. V. 1982.; 池田町冠山 1♀ 31. V. 1979.; 丸岡町淨法寺山 9♂ 9♀ 31. V. 1981.; 永平寺町大仏寺山 1♀ 16. V. 1981.; 福井市一乗谷 1♂ 29. IV. 1980.; 武生市日野山 3♀ 8. V. 1960.; 敦賀市常營 2♂ 1♀ 11. V. 1980.,

- 30) ホオナガヒメハナバチ *A. halictoides* Smith

大野市小池 1♂ 31. V. 1960.; 大野市嵐 1♂ 20. V. 1979.; 大野市道齊山 1♂ 23. V. 1982.; 丸岡町淨法寺山 3♂ 31. V. 1981.; 池田町冠山 10♂ 31. V. 1981.; 池田町部子山 8♂ 6. V. 1981.; 今庄町芋ヶ平 1♂ 1♀ 7. VI. 1981.; 敦賀市立石岬 2♂ 11. V. 1980.; 三方町常神 1♂ 3. V. 1980.,

- 31) *A. haemorrhoa japonibia* Hirashima

勝山市岩屋 1♀ 29. IV. 1962.,

- 32) *Andrena* sp. A

大野市嵐 1♂ 25. VII. 1978.,

- 33) *Andrena* sp. B

大野市道齊山 1♀ 23. V. 1982.,

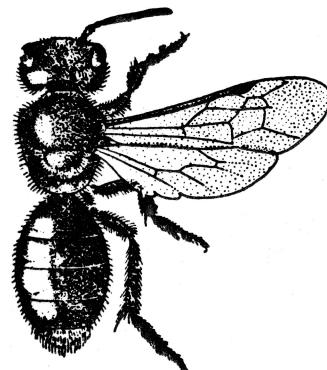
## 2 ヒメハナバチモドキ属

日本には下記の1種のみ知られる。和名から知られるようにヒメハナバチ属に近縁のグループで

雌の後脚に強大な花粉採集器を具えている。雄の後脚は正常。地中に巣をつくり、冬は幼虫態で過ごし、春に羽化活動を始める。アブラナ等に集まる。

1) ヒメハナバチモドキ

今庄町藤倉山 7♂ 1♀ 23. V. 1981.



第四図 ヒメハナバチモドキ(安松)

### III コハナバチ科 Halictidae

#### 1. ハラアカハナバチ属

本属の蜂は主として *Lasioglossum* 属や *Halictus* 属の花蜂に寄生する。これまで 8 種のみ知られていたが、本年、常木勝次博士により、日本産種の分類学的研究が発表され 45 種が整理記録された。下記のリスト中 [ ] の記録は同博士の研究に御使用いただいた標本の再録である。

1) オウレンハラアカ *Sphecodes coptis* Tsuneki

[ ( パラタイプ : 大野市小池 1♀ 19. VII. 1960 ) ; 大野市谷山 2♀ 29. 27. VI. 1975. ]

2) ヤマハラアカ *S. convergens* Tsuneki

[ パラタイプ : 大野市嵐 1♀ 28. VI. 1974. ]

3) エサキハラアカ *S. simillimus* Smith

[ 大野市谷山 1♀ 8. VII. 1975. ; 2♀ 27. VII. 1975. ; 2♀ 6. VIII. 1978. ;  
大野市嵐 1♀ 28. VII. 1974. ; 福井市足羽山 1♀ 19. IV. 1959. ; 福井市社谷 1♀  
6. VIII. 1978. ; 朝日町大谷 1♀ 6. VII. 1964. ; ] 大野市嵐 2♀ 20. V. 1980. ;  
和泉村朝日 1♀ 19. VI. 1981. ; 勝山市大原 1♀ 7. V. 1978. ; 今庄町夜叉ヶ池  
1♀ 13. V. 1979. ; 1♀ 12. V. 1980. ; 今庄町柄ノ木峰 1♀ 9. VIII. 1979. ;  
敦賀市立石岬 2♀ 11. V. 1980. ; 三方町常神 1♀ 3. V. 1980.

[ 鳥取県 : 大山 1♂ 1. VIII. 1963. ]

[ 注 ] これまで知られていたエサキヒメハナバチヤドリの雌は本種の雌であることが判明した。原色昆虫大図鑑 III巻の 306 頁の 12 番にもエサキヒメハナバチヤドリとして紹介されているが上記のように学名は変更された。和名は九州大学の昆虫学者江崎教授に由来する。

4) ウチナミハラアカ *S. utinaminus* Tsuneki

[ パラタイプ : 大野市嵐 1♂ 23. VIII. 1976. ]

[ 注 ] 種名のウチナミは本県の打波川に由来する。

5) ヤマトハラアカ *S. nipponicus* Yasumatsu et Hirashima

[ 大野市小池 1♀ 20. VII. 1960. ; 1♀ 15. VI. 1975. ; 大野市嵐 3♂ 22. IX.  
1976. ; 1♂ 23. VIII. 1976. ; 大野市谷山 1♂ 15. IX. 1977. ; 和泉村朝日前坂 1  
♀ 25. VII. 1973. ; 大野市西谷 1♀ 2. VIII. 1972. ; 大野市宝慶寺 1♀ 20. VII.

1975.; 武生市日野山 1♀ 18.VII.1973.; 大野市小池 2♀ 10.VI.1979.; 大野市鳩ヶ湯 1♂ 30.IX.1982.; 大野市嵐 9♂ 1.X.1978.; 大野市谷山 2♀ 8.VII.1979.; 大野市真名川 1♀ 22.VII.1980.; 大野市平家平 1♀ 29.VII.1978.; 小浜市久須夜ヶ岳 1♀ 13.VII.1980.,

(石川県:白山 1♀ 25.VII.1959.)

6) ミズホハラアカ *Sphecodes japonicus* Coekerell

((大野市嵐 1♂ 1♀ 23.IX.1977.; 大野市嵐口 1♂ 22.IX.1974.; 大野市宝慶寺 1♀ 20.VIII.1975.; 福井市足羽山 1♀ 24.V.1959.; 鯖江市 1♀ 21.V.1967.; 池田町冠山 8♀ 2-5.VIII.1974.; 武生市日野山 1♀ 18.VII.1973.; 今庄町芋ヶ平 1♂ 25.VIII.1973.) 福井市一乗谷 1♀ 29.V.1980.,

((岐阜県:平湯峠 1♂ 16.VIII.1975.); 石川県:白山下 1♀ 12.VIII.1979.)

7) マルヤマハラアカ *S. maruyamanus* Tsuneki

((パラタイプ:大野市赤兎山 1♂ 31.VII.1975.; 1♂ 9.V.1976.); 大野市赤兎山 5♀ 9.V.1976.; 1♀ 29.V.1972.) 大野市赤兎山 3♀ 25.V.1980.; 勝山市大原 4♀ 7.V.1978.; 今立町権現山 1♀ 22.V.1981.,

8) モリノハラアカ *S. silvicola* Tsuneki

((大野市小池 1♀ 31.V.1960.; 1♀ 5.V.1973.; 大野市赤兎山 1♀ 29.V.1972.; 福井市文殊山 1♀ 6.V.1973.; 池田町冠山 2♀ 5.VIII.1974.) 大野市嵐 4♀ 20.V.1979.; 大野市谷山 1♀ 6.VI.1978.; 和泉村朝日前坂 1♀ 6.VI.1982.; 福井市社谷 1♀ 1.V.1978.; 池田町冠山 1♀ 31.V.1979.; 今庄町夜叉ヶ池 1♀ 12.V.1980.; 敦賀市常宮 1♀ 11.V.1980.,

((北海道:ニセカウシュペ岳 2♀ 7.VIII.1959.; 層雲峠 1♀ 5.VIII.1959.))

9) エチゼンハラアカ *S. etizenensis* Tsuneki

((パラタイプ:大野市赤兎山 1♀ 9.V.1976.); 大野市小池 1♀ 19.VII.1960.; 大野市谷山 1♀ 27.V.1973.; 朝日町越知山 12♀ 11.V.1975.); 大野市谷山 3♀ 1.V.1978.; 大野市嵐 5♀ 20.V.1980.; 勝山市大原 2♀ 7.V.1978.; 丸岡町淨法寺山 1♀ 23.V.1981.; 今庄町木ノ芽峠 1♀ 28.V.1978.; 敦賀市立石岬 1♀ 11.V.1980.,

((北海道:ニセカウシュペ岳 1♀ 5.VIII.1959.; アポイ岳 1♀ 12.VIII.1959.))

〔注〕福井市三十八社で常木博士御自身で採集された標本をホロタイプに新種記載された。

10) コイケハラアカ *S. koikensis* Tsuneki

((パラタイプ:大野市小池 1♀ 19.VII.1960.); 1♂ 15.V.1975.; 大野市谷山 3♀ 29.VI.1975.; 大野市赤兎山 2♀ 29.V.1972.; 1♀ 9.V.1979.; 1♀ 18.VI.1978.; 大野市宝慶寺 1♀ 20.VII.1975.; 朝日町越知山 1♀ 11.V.1975.; 池田町冠山 1♀ 5.VIII.1974.) 大野市嵐 1♀ 20.V.1980.; 2♀ 16.VII.1980.; 大野市嵐口 1♀ 22.VI.1980.; 大野市荒島岳 1♀ 6.VII.1982.;

福井県産ハナバチ類について

池田町冠山 1♀ 8.VIII.1979.; 今庄町夜叉ヶ池 1♀ 12.V.1980.;

〔注〕 大野市小池及び冠山の標本をタイプに新種記載されたものである。

11) ミヅハラアカ *Sphecodes sulcifera* Tsuneki

〔(パラタイプ:大野市小池 1♀ 15.V.1975.; 池田町冠山 1♀ 5.VII.1974.);

池田町冠山 1♀ 2.VII.1974.,〕

12) イチジョウハラアカ *S. itidyo* Tsuneki

〔パラタイプ:大野市谷山 1♀ 22.IX.1974.〕

〔注〕 現在までに福井県と石川県でのみ知られる。雄は未発見。

13) スナチハラアカ *S. sabulosus* Tsuneki

〔パラタイプ:石川県寺井海岸 1♂ 14.VI.1967.〕

〔注〕 これまで調べられた標本は河原や海岸の砂地近くで採集されたもので、雌は未発見である。

14) シロウズハラアカ *S. shirojui* Tsuneki

〔(パラタイプ:池田町冠山 1♂ 5.VII.1974.; 今庄町夜叉ヶ池 1♀ 7.VI.1970.;

鳥取県:大山 1♂ 1.VII.1963.); 石川県:白山 2♀ 25.VII.1959.;

〔注〕 本種は元九州大学の蝶類学者白水博士が熊本県五家荘白鳥山で採集された標本をタイプに記載された新種で、本県でも採集されたことは興味深い。

15) フクイハラアカ *S. fukuiensis* Tsuneki

〔パラタイプ:大野市下打波 1♂ 18.VII.1974.〕

〔注〕 福井県の柄ノ木峠、四谷村、下打波(谷山)、和泉村でのみ採集されている福井県特産種。雌は未発見である。

:以下は福井県から知られている種名をあげると:

16) ニッポンハラアカ *S. nippon* Meyer

福井県:日野山、大野市で記録されている。

17) ムツハラアカ *S. mutsu* Tsuneki

福井県では経ヶ岳から記録されているのみで、雌は未発見。

18) オクエツ *S. okuyetsu* Tsuneki

福井県特産種で、赤兎山、嵐で採集されている。雌は未発見。

19) ハネダハラアカ *S. hanedai* Tsuneki

福井県大野市小池で羽田氏により採集された1雄だけで新種記載された珍種である。

20) クロカワハラアカ *S. duplipunctatus* Tsuneki

福井県大野市赤兎山で黒川秀吉氏により採集された1雄で記載発表された新種。福井県特産種。

21) キスケハラアカ *S. kisukei* Tsuneki

福井県大野市小池で、私が採集した1雌で記載された新種である。

22) アマクサハラアカ *S. amakusensis* Yasumatu et Hirashima

福井県からは三里浜、発坂、福井市、下荒井でいずれも砂地ばかりである。天草と福井でのみ知られる地理分布上興味のある珍種である。

23) シリビロハラアカ *Sphecodes laticaudatus* Tsuneki

福井県大野市中荒井と石川県白峰で採集されているのみ、雄は未発見。

24) ハッシャハラアカ *S. hasshanus* Tsuneki

福井県内では三十八社、日野山、鯖江市で記録されている。雄は未発見。

25) ダイシハラアカ *S. daishi* Tsuneki

福井市三十八社でのみ記録されている。雄は未発見。

26) タイチョウハラアカ *S. taicho* Tsuneki

福井市三十八社で採集された1雌で記載された新種。雄は未発見。

2 コハナバチ属 *Halictus*

日本からは4種知られ、小形ないし中形の花蜂。この属の蜂は地中に大きな連続した巣をつくり、各幼虫室に花粉と花蜜を幼虫のために貯え、半社会生活をしている。

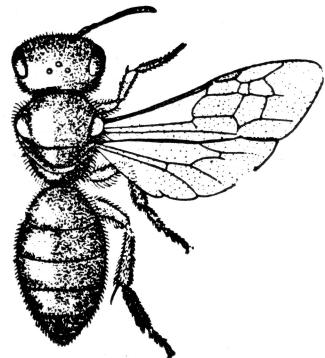
1) アカガネコハナバチ *Halictus aerarius* Smith

和泉村三面 1♂ 18. IX. 1982.; 大野市平家平  
1♀ 29. VII. 1979.; 福井市武周ヶ池 1♀ 26.  
VII. 1981.; 今庄町芋ヶ平 1♀ 7. VI. 1981.;  
今庄町柄ノ木峠 2♀ 9. VIII. 1979.; 敦賀市立石  
岬 2♀ 11. V. 1980.,

( 北海道 : 函館山 1♂ 14. VIII. 1959.)

2) アトジマコハナバチ *H. tumulorum higashi* Sakagami et Ebmer

福井市足羽山 1♀ 3. V. 1978.;



第五図 アカガネコハナバチ(安松)

## おわりに

コハナバチ科の数属とケアシハナバチ科・ハキリバチ科・ケブカハナバチ科・ミツバチ科については、文献リストと共に後日報告したい。